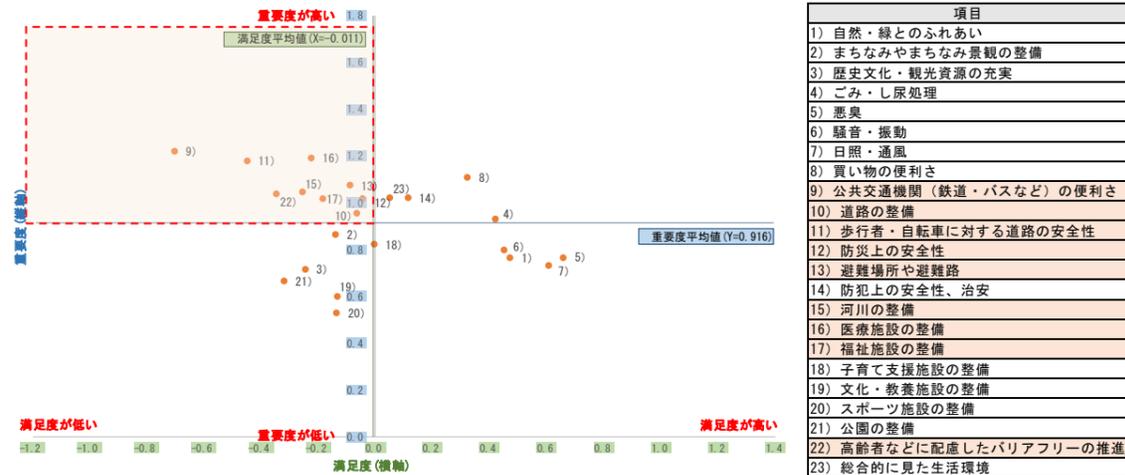


## 1. 市民アンケート・地域別説明会の意見等

### 1-1 市民アンケート結果（粟野地域のみ）

- 「居住地域における生活環境」では、平均よりも重要度が高いが満足度が低い項目として、「9) 公共交通機関（鉄道・バスなど）の便利さ」、「11) 歩行者・自転車に対する道路の安全性」などの9項目があがっています。



- 「居住地域における現在の土地や建物の状況」では、「農地であったところに建物が建ってきた」の割合（63.7%）が最も高くなっています。
- 「敦賀市の今後のまちづくりの方針」では、「雪や災害に強いまちづくりを進める」の割合（14.4%）が最も高くなっています。

### 1-2 第1回地域別説明会における意見等

- 令和2年2月4日（火）に粟野公民館にて計画の内容を説明しました。参加人数：12名。主な意見等は以下のとおりです。

土地利用	・大きな事業をするときに（公民館の）駐車場が手狭になってきているので、道の駅と併用したような形の駐車場を併せて整備してほしい。
農地・森林	・どこの市町も、近年農業後継者がいないため、農地が荒廃している。 ・農地の宅地化が進行している。 ・下水道が未整備などもあり、工業用の施設の整備も完全には行き届いていない。 ・線引きしてしまうと、農地以外に土地利用ができなくなった場合、不安を感じる。 ・農業就労者の現状を踏まえて、用途地域や線引きを決めてほしい。
道路	・道路の拡張（岡山松陵線～木崎通り） ・県道山榊林線を滋賀県の高島市と接続してほしい。
公共交通	・不動産屋の宅地造成が散らばっており、交通網の整備も悪い。 ・公共交通バスの便数を増やす、又は高齢者の無料化（半額）を望む。 ・粟野地区にコミュニティバスを走らせることで、コンパクト化はできると考える。
空き家	・空き家が年々町内に増加しており、空き家利用方法のアイデアがあれば各地区に指導してほしい。
防災	・井の口川、黒河川の災害危険が心配。
地域コミュニティ	・若い世帯の自治会参加が少ない。
その他	・企業誘致に力を注ぎ、実現可能な計画を推進してほしい。 ・働く場が少なく、若者が外部へ流出している。 ・仕事の間が少なく、若者が働きやすい会社や工場が少ない。

## 2. 現行計画の評価

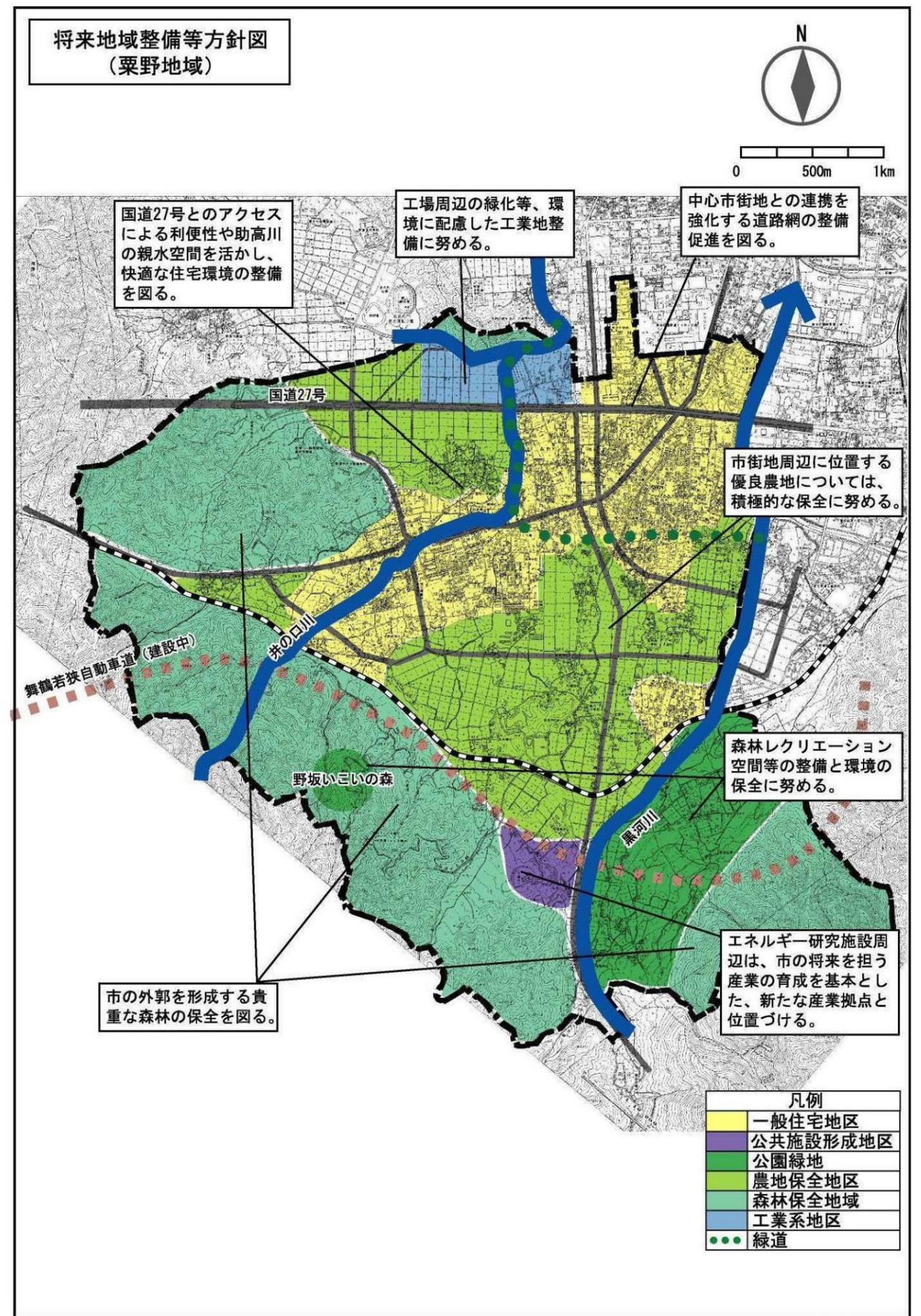
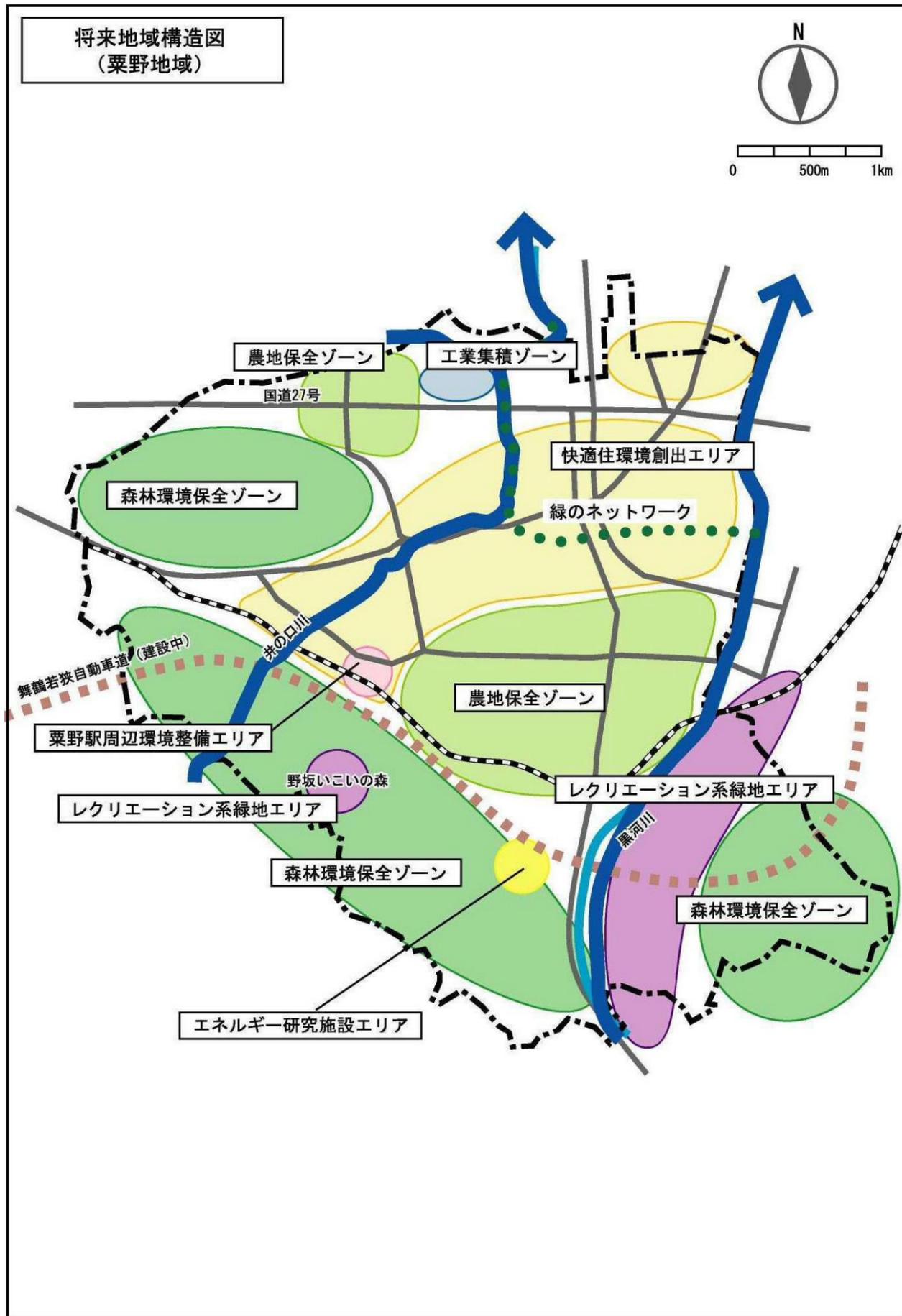
- 平成21年度に改訂し、2020年をもって将来目標年次を迎えた現行計画について、市関係各課の実績をヒアリングし、達成状況を評価しました。

土地利用の方針 〈都市的土地利用〉	住居系 土地利用	・新興住宅地については、土地利用調整条例の運用により、適切な土地利用を図ります。 ・和久野地区等については国道27号とのアクセスによる利便性の向上や助高川沿川の緑化により、快適な住宅環境の整備を図ります。
	商業系 土地利用	・旧国道沿い等に展開される沿道商業地については、地域の魅力向上を考慮し、生活に密着した商業施設を適正に配置します。
	工業系 土地利用	・北部に集積する工業地については、今後とも、工場周辺の緑化等、環境に配慮した工業地整備に努めます。
	<b>概ね達成</b>	<b>条例に基づく調整計画の用途規制による適切な土地利用、用途地域に基づく開発事業者に対する指導・助言など。</b>
土地利用の方針 〈非都市的土地利用〉	エネルギー研究 施設エリア	・エネルギー研究施設周辺については、敦賀市の将来を担う産業の育成を基本とした新たな拠点として位置づけます。
	農地保全 エリア	・市街地周辺に位置する優良農地については、積極的な保全に努めます。
	自然環境保全 エリア	・地域南東部の森林地域の保全を図ります。
	レクリエーション 環境保全エリア	・森林レクリエーション空間等の整備と環境の保全に努めます。
	<b>概ね達成</b>	<b>野坂いこいの森施設の保全、伐採届の審査・指導による適正な森林の利用、国の各種制度の活用による農地・農村の保全など。</b>
環境等整備方針 〈都市緑地整備の方針〉		・助高川、井の口川沿川を市民の身近な親水レクリエーション空間として位置づけ、市街地や運動公園とのネットワーク化などを進めます。 ・住宅地内の身近な公園や広場を整備し、地域コミュニケーションの場とします。
	<b>未達成</b>	<b>【未達成】親水レクリエーション空間の整備、住宅地内の身近な公園や広場を整備。</b>
環境等整備方針 〈景観形成の方針〉		・助高川、井の口川沿川の河川景観の整備に努めます。粟野駅の駅前空間の整備による拠点景観づくりに努めます。 ・旧国道沿線などの沿道商業地区は、広告規制や緑化を推進します。
	<b>一部未達成</b>	<b>河川に堆積した土砂の浚渫及び河川敷の除草等による河川景観の保持など。 【未達成】沿道商業地区における広告規制や緑化など。</b>
環境等整備方針 〈都市環境形成の方針〉		・井の口川の水質浄化のため、排水環境の改善を図るなど、清らかな清流を復活させる対策を行います。 ・優良農地環境の保全に努めます。 ・地域南東の森林地域の保全・育成に努めます。 ・舞鶴若狭自動車道における（仮称）敦賀南部I.Cの設置にむけて、まちづくりを進めていきます。
	<b>概ね達成</b>	<b>河川に堆積した土砂の浚渫及び河川敷の伐木除草、伐採届の審査・指導による適正な森林の利用、敦賀南スマートICの供用開始など。</b>

※「親水レクリエーション」…水や川に触れることで水や川に対する親しみを深め、余暇活動などを楽しむことができる空間。

現行計画(平成21年度改訂版)における「将来地域構造図」・「将来地域整備等方針図」は次ページのとおり

● 現行計画における将来地域整備等方針図（粟野地域）

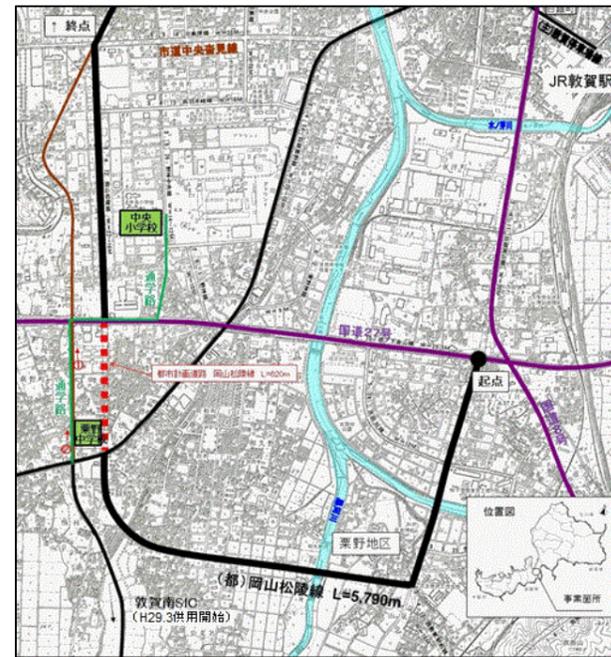


### 3. (1・2を踏まえた) 地域における現況と課題

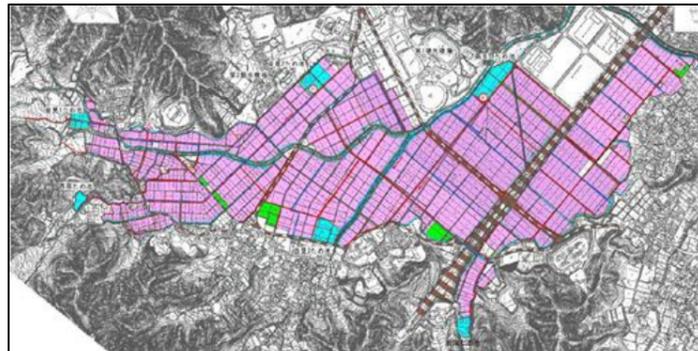
- 舞鶴若狭自動車道に、新たな敦賀市の玄関口として「敦賀南スマートインターチェンジ (SIC)」が整備されました。
- 敦賀南スマートインターチェンジの積極的な利用に向けた取組みが求められています。
- 市街地南側のエリアは、多くの市民が居住し、良好な居住環境が存在しています。
- 立地適正化計画による乗継拠点 (ハブ) を整備し、公共交通の利便性確保や良好な居住環境を維持する必要があります。
- 居住誘導区域外の市街地南側へと宅地のスプロール化 (無秩序な開発) が進行しています。
- 農地の宅地化が進行している。【地元】
- 都市計画道路岡山松陵線が全線開通されたことにより、交通の利便性が向上しました。
- 市街地背後にある集落・優良農地は、土地利用調整条例により住宅の開発をコントロールしています。
- 敦賀西部地区では、大規模な土地改良が行われています。
- 井の口川、黒河川の災害危険が心配。【地元】
- 災害時に緊急避難できる施設が少なく、一時避難場所とする公園は規模が小さい公園が点在しています。
- 県道山楡林線を滋賀県の高島市と接続してほしい。【地元】



(敦賀南スマートインターチェンジの整備)



(都市計画道路岡山松陵線の開通)



(敦賀西部地区の農地基盤整備)



(ハーモニアスポリス構想)



### 4. まちづくりのテーマ・将来に担うべき都市機能

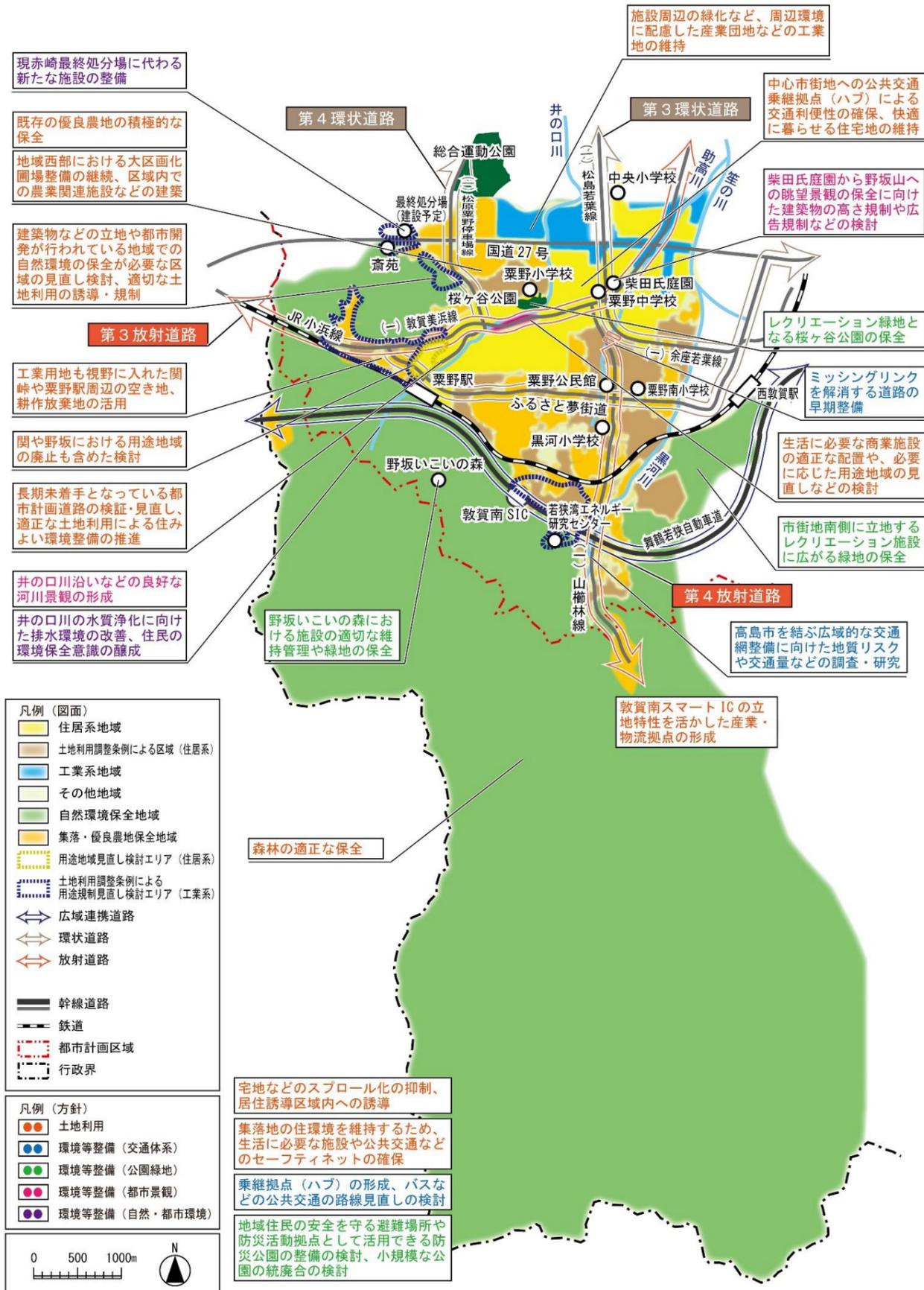
#### 4-1 まちづくりのテーマ

豊かな自然環境と調和した交通の利便性を活かしたまち

#### 4-2 将来に担うべき都市機能

<p>● <b>高速交通機能を活かした産業・物流拠点の形成</b></p>	<p>敦賀南スマート IC が位置する交通利便性を活かし、産業・物流拠点の形成を図ります。</p> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀南スマート IC 周辺とエネルギー研究施設エリアは近接しているため、一体となった産業拠点の構築が求められています。</li> <li>・将来にわたる持続可能な産業構造を構築に向け、郊外部に企業進出を図ることができる土地利用が求められています。</li> </ul>
<p>● <b>公共交通の乗継拠点 (ハブ) を活用した住環境の維持</b></p>	<p>中心市街地や市役所周辺の新市街地とを連絡する公共交通の乗継拠点 (ハブ) を活用しながら、交通の利便性確保や良好な住環境を維持します。</p> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口・住宅地の増加が見られ、中心市街地や新市街地とを結ぶ交通利用環境の強化が求められています。</li> <li>・居住誘導区域外ではあるが、多くの市民が居住していることから、居住環境の維持が求められています。</li> </ul>
<p>● <b>優良農地や貴重な自然資源の保全</b></p>	<p>地域に広がる優良農地や野坂山など、豊かな自然環境を保全します。</p> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地背後にある集落・優良農地保全地域は、土地利用調整条例により住宅開発がコントロールされていますが、地元意見でも引き続き優良農地の保全が求められています。</li> </ul>
<p>● <b>災害に強い安全・安心なまちづくり</b></p>	<p>水害リスクや避難場所などに対する防災対策の強化を進め、誰もが安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井の口川、黒河川の災害に対する備えが求められています。</li> <li>・開発でできた公園は規模が小さく、災害時において緊急避難や一時避難できる公園が少ないことを踏まえ、防災機能を備えた公園整備の検討が必要です。</li> </ul>

5. まちづくり方針図と各種方針（案）



栗野地域 土地利用の方針



用途地域・条例による区域内	住居系地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅地などのスプロール化（無秩序な開発）を抑制し、<b>居住誘導区域内への誘導を図るための施策を検討</b>。</li> <li>中心市街地への公共交通乗継拠点（ハブ）により、交通利便性を保ちながら、<b>快適に暮らせる住宅地を維持</b>。</li> <li>長期未着手となっている<b>都市計画道路の検証・見直し</b>を行い、適正な土地利用を図りながら、<b>住みよい環境整備を推進</b>。</li> <li>閑や野坂については、宅地の立地状況を踏まえ、用途地域の<b>廃止も含めた検討</b>。</li> </ul>
	商業系地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧国道沿いなどの商業地については、地域の魅力を向上するため、<b>生活に必要な商業施設を適正に配置</b>するとともに、必要に応じて<b>用途地域の見直しなどを検討</b>。</li> </ul>
	工業系地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業団地などの工業地については、今後も施設周辺の緑化などにより、<b>周辺環境に配慮した工業地を維持</b>。</li> <li>敦賀南スマートICの立地特性を活かし、<b>産業・物流拠点の形成</b>。</li> </ul>
用途地域外	自然環境保全地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林については、今後も<b>適正な保全</b>。</li> <li>建築物などの立地や都市開発が行われている地域は、自然環境の保全が必要な区域の見直しを検討し、<b>適切な土地利用の誘導・規制</b>。</li> </ul>
	集落・優良農地保全地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の優良農地については、国の各種制度などを活用しながら、<b>積極的な保全</b>。</li> <li>集落地の住環境を維持するため、生活に必要な施設や公共交通などの<b>セーフティネットを確保</b>。</li> <li>閑峙や栗野駅周辺における空き地、耕作放棄地については、<b>工業用地も視野に入れた活用</b>。</li> <li>地域西部における大区画化圃場整備については、<b>引き続き取り組む</b>とともに、区域内に<b>農業関連施設などの建築を推進</b>。</li> </ul>

栗野地域 環境等整備方針

交通体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来を見据え、中心市街地などへのアクセスが容易な交通体系を構築するため、<b>乗継拠点（ハブ）の形成</b>、それとあわせたバスなどの<b>公共交通の路線見直しを検討</b>。</li> <li>高島市を結ぶ広域的な交通網整備に向けた地質リスクや交通量などの<b>調査・研究</b>。</li> <li>県道余座若葉線と県道山榎林線の<b>ミッシングリンクを解消する道路の早期整備を推進</b>。</li> </ul>
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜ヶ谷公園については、<b>レクリエーション緑地として保全</b>。</li> <li>市街地南側に立地する<b>レクリエーション施設に広がる緑地の保全</b>。</li> <li>地域住民の安全を守る避難場所や防災活動拠点として活用できる<b>防災公園の整備の検討</b>に合わせて、<b>小規模な公園の統廃合についても検討</b>。</li> <li>野坂いこいの森については、施設の<b>適切な維持管理や緑地の保全</b>。</li> </ul>
都市景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>助高川、井の口川、黒河川沿いでは、<b>良好な河川景観を形成</b>。</li> <li>柴田氏庭園から野坂山への眺望景観を保全するため、<b>建築物の高さ規制や広告規制などを検討</b>。</li> </ul>
自然・都市環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>井の口川の水質浄化のため、<b>排水環境の改善、住民の環境保全意識の醸成</b>を図るなど、清らかな清流を復活させる対策。</li> <li>市民の生活環境の維持向上を図るため、現赤崎最終処分場に代わる新たな<b>施設を整備</b>。</li> </ul>

## 敦賀市都市計画マスタープラン策定に関する第2回地域別説明会（栗野地区） 開催結果

### ■開催概要

開催日	時間	場所	参加人数
2月9日（火）	19：00～20：30	栗野公民館	15人



### ■参加者からの意見等

	意見	回答
●全体構想の方針（案）		
都市づくりの基本方針		
移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> <li>方針③において、「若者の移住や定住を促進」とあるが、これまで具体的な活動をしてきているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと創生課で、移住・定住に向けた計画を策定し、進めているところであるが、今後も推進していきたい。</li> </ul>
交通体系の方針		
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちの中心地を国道27号バイパスが通っているので、南北の交通が遮断されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に岡山松陵線が開通したことで、交通網は大いに改善されたと思う。</li> <li>県道余座若葉線と県道山榎林線のミッシングリンクについても、接続部分の解消が進められるため、南北の流れは今後も改善されると考えている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山松陵線はいい道路と思うが、正月などには交通渋滞が起こる。</li> <li>理想としては、木の芽川に橋を造って、東洋町から笹の川沿いに道路舗装して、国道27号バイパスを交わらずに、笹の川橋の下を抜けて、栗野の道路に抜けられるような道ができれば一番良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川をまたぐ橋の整備となると、予算もかなりかかるが、何らかの形で検討できれば良いと思う。</li> </ul>
●その他		
都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画マスタープランを策定する部署が、庁内全体の取りまとめを行い、牽引するのか。</li> <li>関係部局が協調して、横並びの仕事をしないと実態に合わなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定にあたっては、庁内関係各課で構成される作業部会を立ち上げているため、引き続き庁内で横断的に連携を進めていきたいと考えている。</li> </ul>
パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメントはいつ頃を予定しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施時期は、4月頃を予定している。</li> <li>各地域の公民館などに計画原案を設置したいと考えている。</li> </ul>

北陸新幹線	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線が開業すると、1日何本ぐらい敦賀駅に発着するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日の本数は把握していないが、しばらくの間、敦賀駅が最終駅となると思っている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀の人は、北陸新幹線が出来たことで観光客が減るのではないかと思う。</li> <li>JRを利用して敦賀へ観光に来られた人のデータを調べて、それに対応していくという必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストロー現象により、敦賀から他の観光地に出ていく数が増えるということもある。</li> <li>その点を理解した上で、観光事業を今後も推進していく必要がある。</li> </ul>